

部局名	消防本部	所属名	警防課	所属長名	山崎 春男	電 話	459-2441
-----	------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3933		事務事業名称	水利整備事業					短縮コード	経常	3933	臨時	3373
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防施設費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務			根拠法令等		消防法, 消防水利の基準（昭和39年12月10日消防庁告示第7号）							
☐ その他													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
消防法第20条第1項に規定する「消防に必要な水利の基準」，消防庁に勧告として制定されたのを契機に消防水利の充足率を上げるために開始する。また,地震等の大規模災害時の消火活動に対応するため住宅密集地等に耐震性防火貯水槽（100 t 級）を計画的に設置を図る。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
上下水道局による上水道管の設置・改良工事に伴い,消火栓の設置・改良基数の増加による負担金増となる。					大項目（節）	01	市民の安全						
					中 項 目	02	消防						
					小項目（施策）	02	消防体制の充実						
					細 項 目	04	消防水利の確保						
				実施計画の計画事業	3109	消防水利整備事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		昭和41年4月 ～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	防火水槽・消火栓							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 消火栓設置・改良・修理。 耐震性防火貯水槽（100 t 級）の設置。 防火水槽の撤去。							
	※平成20年度に計画していること： 消火栓設置・改良・修理。 防火水槽の防水補修工事。							
意図 （何を狙っているのか）	市街地を中心に，耐震性防火水槽及び消火栓を設置し，消防水利の増強を図り市民生活の安全を確保する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	防火水槽数	数量	455	465	466	471	
	指標 2	消火栓数	数量	925	935	946	952	
	指標 3							
活動指標	指標 1	防火水槽設置・撤去工事・漏水工事等	数量	3	2	2	1	
	指標 2	消火栓設置・改良・修理等	数量	58	25	67	62	
	指標 3							
成果指標	指標 1	消防水利充足率	比率	84.8	86	84.8	86	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3933	事務事業名称	水利整備事業				所属名	警防課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			「消防に必要な水利の基準」に基づく充足率を引き上げるよう耐震性防火水槽及び消火栓の設置を継続する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			消火栓の設置・改良及び修理数の増加による負担金は増加するが、防火水槽及び消火栓の増加により充足率を引き上げ市民の安心・安全を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
当初と比較して、防火水槽設置の伸び率は鈍化しているが、消火栓設置は増加している。									

所属長コメント	消防水利施設の充実強化を図るため、引き続き防火水槽及び消火栓の設置を推進したい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			計画に基づき充足率を引き上げて行くべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									